

特 集／山形直行バスがサポートする高校通学
町政スポット／名称が決定！子育て支援拠点施設 町営住宅「蔵ハイツ大町」が完成
建設工事進む 最上川フットパス ほか
ま ち の 話 題／～大沼分校さよなら公演～神おわす沼 浮島物語 第13回「昔話さい
てみんなのつどい 若者交流会「あさひism で 楽ism」 ほか

朝日連峰一望の絶景 サイツチ峰を目指して…

(3月8日；春の雪山トレッキング)

※10頁に関連記事

広 報

あさひまち

2009年3月号

No. 628

いよいよ復路便も運行へ 山形直行バス



鉄道がない朝日町

最大の苦労は高校通学

皆さんご存じのように、朝日町には鉄道がありません。そのため移動に関しては、自家用車中心の生活様式が進み、路線バス等の公共交通機関はニーズの減少に合わせ徐々に規模を縮小してきました。その影響を大きく受けているのが「交通弱者」と呼ばれる運転免許を持たない、18歳未満の子どもやお年寄り、そして障害をお持ちの方々など。彼らにとっては、町内外どこへ移動するにしても、不便な面が多いのが現状です。

高校生の通学対策は

定住対策の重要課題

その中でも、特に苦労を重ねているのが、毎日学校へ通う高校生とその家族の方々と言えます。

一般的に、朝日町から転出される方の多くが、その理由に「(高校)通学の不便さ」を挙げているように、朝日町にとって、高校生への通学対策は、定住対策の重要課題の一つに位置付けられています。

西村山管内が大半だった

約20年前の高校選択

ここで、朝日町内における、高校通学の動向を調べてみたいと思います。

3頁のグラフは、朝日町に住む15歳以上の方々の通学先を市町村別にまとめたものですが、それを見ると、平成2年における通学先は、朝日町のほか、山交バス路線上にある大江町や寒河江市が大半だったのがわかります。

また、山形市への通学に関しても、当時宮宿／左沢駅間で、現在のように保護者による送迎を受けていた方は少なく、自転車や山交バスを利用する方が多かったと言われています。

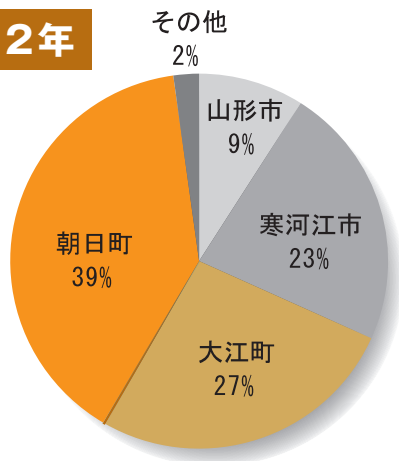


利用率向上のねらいも

あったバスへの助成

そのため、町が行ってきた通学支援も、山交バスに対するもののみでした。町では平成12年度から、宮宿／左沢駅間の定期券購入額に

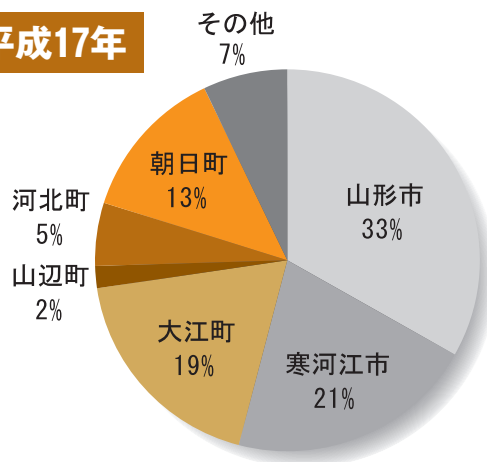
平成2年



高校通学に関する動向を見てみると、平成2年には山形市に通学する方の割合は全体の1割未満だったのに対し、その後徐々に増え続け、平成17年には3割以上の方々が通学するに至っています。

また、平成20年3月に朝日中学校を卒業した生徒の進学先を見ると、山形市を中心とした東南村山地区の高校へ進学した方の割合が、全体の37%に上っており、（広報あさひまち08年11月号参照）、約20年前と比べると、高校選択の幅が広がっていると言えます。

平成17年



（グラフ） 常住地による市区町村別15歳以上通学者数 資料：国勢調査

※1 国勢調査の基準日は各年の10月1日ですので、「朝日町」欄は、15歳を迎えた朝日中学校の生徒を含んでいます。

※2 「常住地」という条件ですので、下宿生活者は含みません。

山形直行バス実証運行(平成20年度)

1. 運行期間

平成20年4月7日～21年3月15日の間の平日（夏期休暇、年末年始休暇中は運休）→198日

2. 運行経路及び時間（夏季4月～11月）

常盤（6：35）～役場前（6：42）送橋（6：50）…《ノンストップ》…山辺高校前（7：15）～山本学園前（7：30）～山形商業前（7：33）～山形駅西口（7：35）～山形市役所前（7：48）～城北高校前（7：57）～北山形駅（8：00）

※1 町内に限り、運行経路上にある町営バス・山交バスすべての停留所で乗車可能

※2 冬季（12月～2月）は10分繰り上げ

3. 運賃

通学定期券	1カ月	3カ月	6カ月
	5,000円	14,000円	25,000円
乗車1回あたり	中学生以上	小学生	小学生未満
	500円	250円	無料

4. 利用者

定期券購入者…28人

一般利用者…1日あたり約2人

対して、3割の助成を実施。これは、当時減少が著しかった山交バスの利用率アップと合わせた施策でした。その後、家族による送迎が増加してきたためか、助成制度の利用者が減少。平成16年度をもって、一度制度が打ち切りとなりました。

しかし、平成19年4月、この年の3月に策定された「朝日町定住促進ビジョン」に基づく定住対策の一環として、助成額を5割に引き上げ、本制度が復活。保護者の経済的・時間的負担の軽減を図るとともに、改めて山交バスの利用促進を図ってきました。

この「定住促進ビジョン」とは、「育」「職」「住」「アクセス」を4つの柱に掲げ、定住対策への具体的な施策をそれぞれの柱ごとに打ち出した計画です。この計画における、山交バス助成以外の「アクセス」分野の施策、それが「山形直行バス」の運行です。平成19年10月から、朝日町と山形市間で、朝一便のみの片道運行が開始されました。

新たな視点で運行

山形直行バス

山形直行バス利用者アンケート

- 実施時期 平成20年 8 月
- 対 象 者 直行バス定期券購入者 23人
- 回 答 者 16人 (回答率70%)

Q 1 - 1 通学している高校の所在地は？

①山形市 15 ②山辺町 1

Q 1 - 2 帰りの帰宅方法は？

①保護者等が学校まで迎えに行く 1
②左沢線を利用し、その後保護者の送迎 11
③左沢線を利用し、その後山交バス 4

Q 1 - 3 J R 左沢線で左沢駅まで来る時、山形駅発何時の列車を利用していますか。多い順に番号を付けてください。

山形駅発時刻	1 位	2 位	3 位	点数換算 (※)
①14:20				
②15:26			1	1
③16:28	2	2		10
④17:30	4	3	6	22
⑤18:35	3	8	3	28
⑥19:38	6	2	3	25

Q 2 - 1 高校の通学日に合わせ、現在は1年で198日のみの運行としています。運行回数については・・・

①満足している 5
②もっと増やして欲しい 11 (理由 夏休み中も学校に行く機会が多い 等)

Q 2 - 2 常盤発6時35分の運行時刻については・・・

①満足している 13
②もっと早く出発して欲しい 2
③もっと遅く出発して欲しい 1

Q 2 - 3 月額5,000円という料金については・・・

①満足している 11
②もっと安くして欲しい 4
③高くてもいいので運行日を増やして欲しい 1

Q 2 - 4 運行経路については満足していますか

①満足している 13
②改善して欲しい 2

(※) 1位を3点、2位を2点、3位を1点とし、各時間帯を選んだ人数を乗算したものを集計しています

直行バスで経済的・人的負担の軽減を図る

この背景にあったのが、近年の通学先の変化。3頁のグラフでもわかるように、平成2年には1割にも満たなかった山形市内への通学者が、平成17年には全体の3分の1にも上っています。

それに加えて、近年著しかった燃料(ガソリン)価格の高騰も影響。上記アンケート結果からもわかりますが、現在山形市へ通学される方の多くが、家族から左沢駅までの送迎を受けています(Q1②)。例えば、ガソリンの単価が140円前後だった昨年3月には、宮宿～左沢駅間(往復20kmで換算)の送迎だけで、1日あたり560円かかる計算となります。これら経済面のほかに、送迎される家族の時間的拘束も含めると相当な負担となり、これらを解消するための施策が山形直行バスでした。19年度は年度途中からの運行ということもあり、定期券購入者は15人でしたが、20年度は28人。この他、一日平均2人程度ではありますが、一般の方にもいろいろな目的にご利用いただきました。ただし、これまでの2年間は

こんなにかかる 宮宿～左沢駅間の送迎コスト

算定の条件

- ①宮宿～左沢駅間の距離 … 20km (往復)
- ②燃料(ガソリン)単価 … 140円/ℓ (H20年3月時点)
- ③自動車の燃費性能 … 10km/ℓ

宮宿～左沢駅間を一往復するのに20km自動車を走らせることを考えると、これにガソリン代は280円かかることとなり、送迎で2往復換算すると1日560円かかることになります。

平日のみの登校を想定し、登校日数を242日(21年度の暦から)と仮定した場合、送迎のガソリン代だけで年間13万円以上かかる計算になります。

「実証運行」という形態。それに伴い、今後は利用者の動向や要望に耳を傾けながら、検討を重ねていくというものでした。そういったことから、昨年8月に「山形直行バス利用者アンケート」を実施。その結果のほか、「町長と語ろう」で出された意見なども踏まえながら、このほどまとめられた平成21年度の運行計画が次のとおりです。

復路は山形発午後7時台の運行 その理由は

4月からは、復路の運行がはじまります（山交本社19時15分発）。往路と同様、一便のみの運行となりますが、下校時刻は個人間で異なるため、出発時刻の設定に関しては特に難しい部分がありました。先に行ったアンケート結果を見ると、直行バス利用者の復路における左沢線利用時間帯は、17時台、18時台、そして19時台がほぼ同数といった状況（Q1-3）。この

ことから、当初は3つの時間帯の中間にあたる山形発18時台の運行が予定されていました。

しかし、このほど行われた山交バスのダイヤ改正が直行バスの時刻設定に影響を与えました。これまでは、山形発19時台の左沢線列車を利用して、左沢駅から接続する20時台のバスがありました。今回の改正で、その時間帯の便が廃止に。19時台の列車を利用した場合、左沢駅から先の公共交通機関がなくなることから、その代替策として山形発19時台の運行が決定しました。

往復定期で左沢駅〜宮宿 間山交バスが利用可能に

ただし、この時間帯は部活動等をしていない方にとって、利用しにくいという点も考慮されました。そこで、「往復定期券購入者に限り、その定期券で山交バス左沢駅〜宮宿間を利用できる（平日のみ）」といった特約も同社との間で成立させ、比較的早い時間帯の列車を利用する方々にも利用しやすい環境を整えました。

興味のある方は説明会に おいでください

このように、この春以降、ますます利用しやすくなる「山形直行バス」。町では、現利用者や、この春高校進学を控えている新一年生の保護者らを対象とした「山形直行バス利用拡大説明会」を左のとおり開催します。興味のある方はぜひおいでください。

その他、一般の方も引き続き利用できますので、多くの方のご利用をお待ちしています。

平成21年度山形直行バス運行計画

---この春からの注目点はココ---

- ▼復路便（山交バス本社19時15分発）を新たに運行します
- ▼往復定期券に限り、その定期券で山交バス左沢駅〜宮宿間を利用できます（平日のみ）
- ▼夏休みや冬休み等長期休暇中も運行します
- ▼通勤定期券を新たに発行します

1. 運行期間

平成21年4月6日から22年3月31日までの平日
→年間242日の運行

2. 運行経路及び時刻

- 【往路】…経路、時刻ともに平成20年度と同様
常盤（6:35発）〜北山形駅（8:00）
※冬季（12月〜2月）は10分繰り上げ
- 【復路】…山交バス本社（19:15）〜山形駅西口
〜山形市役所〜北山形駅〜≪下条・江俣・陣場を経由…≫ 山辺駅（19:52）
〜役場前（20:18）〜常盤（20:32）
※経路上にある町内のバス停（山交バス・町営バス）はすべて降車可能です。

3. 運賃

乗車1回 あたり	中学生以上	小学生	小学生未満
	500円	250円	無料
定期券 （往復） ※片道定期 は半額と なります	種類	通学	通勤
	1カ月	12,000円	16,000円
	3カ月	34,000円	45,000円
	6カ月	62,000円	82,000円
	1年	120,000円	160,000円

※定期券の金額については、運行日が平成20年度と比較して、年間40日程度増えているため、約2割程度値上げになっています。ご理解をお願い申し上げます。

山形直行バス利用拡大説明会

- ▼日時 3月19日（木）午後7時30分から
- ▼場所 創遊館会議室
- ※申込等不要ですので、どなたでもお気軽においでください。
- 問合せ 政策推進課 ☎67-2112

「あさひ保育園」に決定

平成22年4月開園予定 子育て支援拠点施設

■第2次選考結果

- ・配布世帯 2,374世帯
- ・投票世帯 590世帯
- ・投票率 24.9%
- ・投票内容

あさひ	156票
ぶなの木	119票
あっぷる	116票
みつば	100票
みらくる	75票
ぱれっと	24票

昨年末から名称募集を行っていた子育て支援拠点施設の名称が「あさひ保育園」「子育て支援センターあさひ」に決定しました。1月末日までに応募があった名称の中から6点を絞り、施設名称にふさわしい1点を町内各世帯より投票いただき、2月27日の名称検討委員会（委員長：鈴木敬二区長会長）を経て、「あさひ」と決定しました。

「あさひ」応募者19人の中から抽選で、鈴木ふみさん（栄町）に記念品として2万円の朝日町お買物券が贈られました。鈴木さんは「朝日町の子どもらしく、自然に親しみ、りんごのように丸い気持ちで伸び伸びと育って欲しいですね」と名前に込めた思いを話してくれました。

同施設は、5月頃から建物工事に入り、来年2月に完成する予定。平成22年4月に町内のすべての園児が通う統合保育園と、子育て支援センターがオープンを迎えます。

町営住宅「蔵ハイツ大町」が完成

若年層に対するアパート不足を解消するため、昨年8月から宮宿（大町）地内に建設を進めてきた町営住宅（5棟・10世帯分）がこのほど完成し、「蔵ハイツ大町」として間もなく入居が開始されます。

今回のアパートは木造2階建て、1棟2世帯のメゾネットタイプ集合住宅。間取りは1世帯3DKの85・27㎡、設備には蓄熱式暖房やエコキュートなどオール電化を採用していて、経済性と安全性を両立。子育て世代に配慮したものとなっています。建設費用は約1億8000万円（1棟あたり約3600万円）で、うち4割が国土交通省の「まちづくり交付金」からの補助を受けています。

町ではこの交付金を今後さらに活用し、今回新築されたアパートの北側に広場を整備する予定です。（平成21年度完成予定）



災害時に備え協定を結ぶ

2月13日、町と東北電力株式会社との間で、「災害時の電力復旧に関する相互応援協定」が結ばれ、鈴木町長と東北電力（株）石橋天童営業所長が協定書に調印しました。

大地震や土砂災害などの自然災害が発生し、電力の供給施設が被害を受け、広範囲に長時間停電になる場合があります。その際、災害対策本部を設置する町と同社が協力し一刻も早い復旧をさせるために結ばれた相互応援協定です。

今後は電力会社以外にも多くの関係団体と災害時の応援協定を締結し、有事に備えていく予定です。

日本園芸農業協同組合連合会長賞を受賞 朝日町果樹組合連絡会議

このほど、朝日町果樹組合連絡会議(菅井勝英会長)が第10回全国果樹技術・経営コンクールにおいて日本園芸農業協同組合連合会長賞を受賞いたしました。

本コンクールは、果樹農業をめぐる環境が厳しさを増す中、独自の創意工夫や最新技術の導入等により、高い水準の技術・経営等を達成し、他の模範となる取組みを表彰しているもの。今回は全国120の応募の中から、農林水産大臣賞をはじめ20の団体・個人が表彰を受けています。

朝日町果樹組合連絡会議が評価を受けたのは、新品種シナノスイートの導入・普及と統一共選によるブランド確立や、りんごの輸出など生産者が一丸となった取組み。受賞を機に今後の更なるりんご産業の発展を期待いたします。



建設工事進む 最上川フットパス

「歩くことを楽しむための小径(こみち)」という意味の「フットパス」。現在、国土交通省では最上川の美しい自然を多くの人々に楽しんでもらおうと、各地に「最上川フットパス」の整備を進めていて、すでに白鷹町をはじめ大江町、寒河江市など多くの市町村で整備されています。

そのような状況の下、朝日町においても整備を進めるため、昨年4月以降、数回の会議や現地視察を開催。そうした経緯を経て、設置が決定し、現在栗木沢地区で工事が進められています。



栗木沢のカヌーランドを起点とし、下流の明鏡橋まで総延長549mに幅1.5mの散策路や木道、飛び石を設置。歩く楽しさが一層高まるスポットとなる予定です。

インターネットは、今や現代社会に欠かせないものです。町では平成18年度に超高速通信回線(光ファイバー)を整備し、町内全域でブロードバンドでインターネットができる環境を整えました。

その利用拡大のため、3月3日インターネット教室を開催。基本操作からホームページの見方、メールの

使い方まで学習しました。参加者は「とてもわかりやすかったです。家のパソコンでもぜひ使いたいですね」と語っていました。



わかりやすい インターネット教室

物語は終わらない

歩き始めた道の先にあるもの。それは確かにゴールであると信じていた。そのゴールが近づき、今まさにそのゴールを飛び越えようとした瞬間、それは、本当のゴールではなく、ただ必死に目指してきた通過点に過ぎなかった。ゴールは、遥かまだまだ彼方にあり、それは終わりのない物語のように思われた。

必死に目指した目標が、その時その時の人生の目標であり、その目標に一度に頑張り、努力する。そのひた向きな姿、真面目な一途な姿が、人間を一回りも二回りも大きくして、次のステージに引き上げて行く。努力は裏切らない。必ず自分に返ってくる。一つのステージが終わる、次のステージに駆け上がる時、その努力は力強い「地力」となって、次の物語を歩み始める。

「今日一日を精一杯生き抜く」 その積み重ねが一人ひとりの物語

また、人生は晴れの日ばかりとは限らない。苦しく辛い時代にぶち当たることもある。これが人生であり、越えなければならぬ壁である。そんな時にこそ人間は、雪の重さに耐える柳のようになやみかさで、人生の苦悩に耐え抜き、さらに強靱な本当の強さを身につける。その時初めて次の舞台に立ち上がるのだ。この繰り返しが生きているのだ。負けない。歯をくいしばって、立ち向かう、そんな根性を今こそ見せてやれ。諦めるのではない。必ず、必ず夢は実現する。それを信じる心。信じ続ける強い信念が、

山をも動かす「奇跡」を生み出す。過去を思い悩むな。未来を怖れるな。今を、今日一日を精一杯生き抜いて行こう。その積み重ねが一人ひとりの物語であり、その物語は生き生きと語り継がれ、終わることなく続いて行く。一人ひとりが物語の主人公であり、すべての物語があつて初めて、世界が語り継がれて行く。物語は果てしなく続き、終わることを知らない。

朝日町長 鈴木 浩彦



小中遠隔交流会
(2/13 朝日中学校)

まちの話題

ここで紹介した情報以外にも、ホームページ内「まちの写真館」には写真がいっぱい。見てね！



チューブスライダーに長い列
(2/22 Asahi自然観)

～大沼分校さよなら公演～ 神おわす沼 浮島物語 (2月20日/大谷小学校大沼分校)

大切にしてほしい ふるさとへの愛着



この3月をもって閉校が予定されている大谷小学校大沼分校で、2月20日、人形劇「神おわす沼 浮島物語」が公演されました。

「神おわす沼…」

とは、平成15年の「国民文化祭やまがた2003」の開催に合わせ創作された人形劇で、地区のシンボル「大沼の浮島」に伝わる伝説をミュージカル形式に脚色したもの。今回、同校の閉校にあたり、当時の感動を児童、そして地区の皆さんにもう一度感じていただき、ふるさとへの愛着を大切にし

ていただこうと、当時のメンバーが集結。「人形劇団はなまる」が5年半ぶりに再結成されました。

3人の在校生のうち、6年生の白田知也君は「5年前の思い出がよみがえりました。この人形劇は一生の思い出です。ありがとうございました」と語っていました。



物語のあらすじ

(※) 役の行者・證覚(しょうかく)から神秘的の地・大沼で祈禱を続けるよう命じられた弟子・覺道(かくどう)。そこに社を建て、何年か任務を果たしますが、寂しくなって都に帰ってしまおうとします。そんな時、目の前に現れたのが、美しい娘に姿を変えた浮島の精。その後、その娘(お島)を妻に迎え、覺道は日々の修行に積極的に励むようになります。数年後、お島は沼の主との約束により、元の姿に戻り沼へと帰ってしまいますが、覺道は自分を支えてくれる者(精)たちの存在を知ること、そこを安住の地とし、精進につとめるのでした。

(※) 役の行者…山岳修行

朝日町雪まつり事業 ～雪あかりキャンドル通りの街 (2月21日・22日/町内一円)
～雪あかりワインのタベ2009 (2月21日/開発センター)

温かなキャンドルのあかりと芳純なワイン等を楽しむ



2月21日、22日の両日、朝日町雪まつり事業の一環として、「雪あかりキャンドル通りの街」への取り組みが行われました(地域によっては、お柴灯などの折に行ったところもあります)。

これは、電灯では感じられない「やわらかで温かみのあるあかり」を家族や仲間を楽しみ、来町者に小さな街灯をプレゼントしようという試み。各家庭のほか、地区全体での取り組みもあり、町内いたるところで、夕闇せまる白銀の世界に優しいあかりが灯されました。

21日には、同じ「雪まつり事業」の「ワインのタベ(主催:商工会女性部)」も開催され、芳純なワインとフラメンコの情熱に150人が酔いしれました。



小学生の情感あふれる語りも

3月1日「昔話きいてみんなのつどい」が創遊館で開催されました。

毎月町立図書館で「むかしばなしの会」を開催している「語りの会つむぎ」の皆さんが主催。今年は、会員のほか宮宿小学校の児童6人による昔語りも披露され、約40人の方々が訪れました。

このうち、学校の授業（総合）の中で昔語りに取り組んできたのが6年生の3人（阿部由良くん、浅岡美穂さん、安藤美季さん）。これまで保育園やふれあい荘での発表のほか、ラジオ取材も受けるほど上手な語り口で、この日も大人顔負けの情



感あふれる語りで周囲の方々を魅了しました。

この日は昔語りのほか手作りの紙芝居「黄金沼」も上演。これは、元朝日町教育長の故阿部美喜男氏が、言い伝えによって傳承されていた春日沼にまつわる伝説をまとめたもので、今回つむぎの皆さんが手作りで製作。今年度の山形県自作視聴覚教材コンクールでは優秀賞に選ばれています。

同会代表の成原千枝さん（前田沢）は「町の伝説を大切にしたい」と思い、製作にあたりました。絵には、切り絵を用いましたが、材料は思い入れのある古い衣類の切れ端などを使い、自分たち自身の思いも詰め込みました。多くの人に見てもらいたいですね」と語っていました。

宮宿小教育講演会 「命の学習塾 伊藤あさみ講演会 『やればできる！母がくれた命と勇気』」

(2月21日／宮宿小学校)

やればできる！足で生活のすべてをこなす

2月21日宮宿小学校で教育講演会「命の学習塾 伊藤あさみ講演会」が開催され、5・6年生児童とその保護者ら約100人が参加しました。



この日講師を務めたのは天童市在住の伊藤あさみさん（71歳）。生まれつき上肢（両腕）の自由がきかないという障害を持ちながら、想像し難い努力を重ね、足ですべてをこなす生活確立。結婚・出産・育児も経験し、これまでの人生をもとに、命の重さ、尊さを説く「命の学習塾」を県内外で展開しています。

講演で伊藤さんが伝え

ていたのは、ご自身の苦勞や努力はもちろん、現在も満100歳で元気に生活しているという「母の強さ」。「無いものに頼らず、あるものを使え」

「できないものから逃げるな」の言葉に代表されるとおり、伊藤さんの母は障害のため学校に行けなかったあさみさんに対し、学業から生きていくための手段まで、時には涙しながら、すべてを教えてくれたそうです。

現在は、3人の孫ら7人家族の主婦として充実した日々を送るという伊藤さん。約1時間の講演の中では、足の指でりんごの皮をむいたり、裁縫の実演なども披露され、参加者は、目で、耳で、心で、「命の重さ・尊さ」のほか、「やればできる」という勇気についても学びました。





志を同じくする若者たちが交流を図る

2月21日から22日にかけて、若者の出会い交流事業「あさひismで楽ism 雪の中でこんにツアー」が行われました。

この日親睦を深めたのは、朝日町の「アットホーム」と、河北町の「楽ism(タノシズム)」の皆さんで、ともにそれぞれの町で、イベント等に積極的にかかわっている若者グループです。親睦や情報交換を通じて、今後もさらに自分たちの町を元気にしていこうと、合計33人が参加しました。

当日は最初にワイン城見学からスタートし、その後、Asahi自然観へ会場を移動。両グループ共同でスノーランタンづくり等を行い楽しい時間を過ごしたほか、夜にはそれぞれの町の素材を持ち寄って交流会を開催。これまでの取組みについて情報を交換するなど深夜まで熱く語り合いました。

参加者の一人は、「今後も町内外いろいろなグループとも交流を図って行って町を元気にしていけばいいですね」と笑顔で語ってくれました。

エコミュージアム事業報告会 「五百川峡谷の魅力」(3月7日／創遊館)



3年間の取組みを振り返る

朝日町を南北に20数キロに渡って流れる、母なる川「最上川」。この最上川を題材に、NPO朝日町エコミュージアム協会やエコミュージアム案内人の会が3年間にわたり取り組んできた「おらほの最上川学・五百川峡谷編」の事業報告会が3月7日に創遊館で開催され、約30人が訪れました。

五百川峡谷の誕生から、自然、水質、そして、それに関連する舟運、青苧、カヌー、ビューポイント等々これまで開催されてきた10講座について会員が内容を報告。参加者の一人は「五百川峡谷の魅力を改めて知る良い機会になりました。機会を見つけ、もっと川に親しんでいきたいです」と感想を話していました。

春の雪山トレッキング (3月8日／Asahi自然観周辺)



朝日連峰の絶景を楽しむ

Asahi自然観周辺の真っ白な雪原を歩いて散策する「春の雪山トレッキング」が3月8日開催され、遠くは酒田市から、25人が参加しました。

一行は午前9時にホテル自然観を出発。朝日山岳会(花山忠夫会長)の方々の案内により、途中ゲレンデ内を通過した後雪原に入り、そこから南西の尾根伝いに進み、約2時間で朝日連峰が一望できる「サイズチ峰」に到着しました。

この日は曇りの天気。出発時には見えるかどうか心配された朝日連峰でしたが、現地でははっきりと見ることができ、天童市からの参加者は「朝日連峰を冬に見るのは初めて。参加して本当に良かったです」と語っていました。

1年間の活動を振り返り、さらなる学習意欲の向上を図る

第21回朝日町生涯学習推進大会が2月22日創遊館で開催されました。この大会は、町内で様々な生涯学習活動を行う団体が1年間の活動を振り返り、さらなる学習意欲の向上を図ること等を目的に、毎年開催されているものです。

大会に先立ち、今年度の町体育協会表彰式を開催。各種大会で上位入賞を果たした方々や、各競技の振興発展に長年功労のあった方々に対し、町体育協会長より賞状とメダル等が授与されました。

続いて行われた学習事例発表では、2団体が1年間の活動の成果を発表。このうち、今回が初お披露目となったのは「送橋神明こぶし太鼓」。これは、送橋小学校の閉校に伴い、伝承の危機に瀕した（同校子どもたちによる）「沢内豊年太鼓」に対し、婦人会や若妻会の方々が有志が立ち上がり再興させたもの。志藤六郎村おこし基金の支援を受けて、平成19年度に整備したハッピーを身にまとい、勇壮な太鼓のステージを披露しました。

この後、現在町が設立を進めている「朝日町総合型スポーツクラブ」についての発表と、「スポーツと健康」と題した山形大学地域教育学部大貫義人教授による記念講演も開催されました。



『学校とともに太鼓もなくなってしまおう…』そんなことを考えた時、子どもたちががんばっていた姿を思い出しました。『私たちにできるなら』との思いから、みんなが集まりこの会が生まれました。これからも地区の祭礼などを盛り上げていきたいですね。



■送橋神明こぶし隊
代表 清野 むつみ さん



受賞者の方々による記念撮影（一部代理の方が出席しています。）

受賞を受けられた方々は次のとおりです。《殊勲賞》▼志藤一彦（会社員／野球／川通）▼白田淳（山形大学4年／陸上／西町）▼白田慶彦（福井工業大学4年／剣道／大町）▼清野紗由美（山形城北高校3年／卓球／送橋）▼堀隼聡（酒田商業高校2年／剣道／中沢）▼佐竹美咲（山形商業高校2年／バスケットボール／ハツ沼）▼佐藤陸（山形工業高校1年／剣道／真中）▼志藤綾子（左沢高校1年／剣道／川通）▼清野嵩悠（朝日中3年／スキー／四ノ沢）《優秀賞》▼遠藤幹士（朝日中1年／卓球／舟渡）▼大谷ジュニア剣道スポーツ少年団（志藤慶太 白田翔志樹 菅井蓮 堀将人 鈴木貴大 菊地竜ノ介 白田大）▼宮宿剣道スポーツ少年団（阿部真琴 菊地咲良 鈴木翔子 佐藤亜美 佐藤夏奈）《功労賞》▼白川きぬ（無職／ゲートボール／松程）《感謝状》▼和田一則（柔道整復師／柔道／小原）おめでとうございます



みんな の ひろば

2月15日、秋田県で開催された全日本スノーボード選手権大会東北地区予選会。その一般の部で見事優勝を果たしたのが渡辺恭介さん。そこで流した大粒の涙には、それまでの長い道のりの中で経験した、様々な思いが込められていました。

渡辺さんがスノーボードを始めたのは小学校5年生。「人と違うことをしてみたい!」というのがきっかけ。その後中学を経て、高校時代に出会ったのが「スロープスタイル」という種目。一見してその虜となり、当時は学校が休みの日は、毎日自然観へ通っていたそうです。そうした日々を送るにつれ、メキメキと技術も上達し、高校3年時には第22回全日本選手権東北大会ジュニアの部で優勝。それを機にプロへの挑戦を決めました。



今★輝いて

プロは目前 スノーボード スロープスタイル 渡辺 恭介 さん (大谷二)

度、毎年重圧を感じていたそうです。そして迎える待ちに待ったウインターシーズン。ところが、ここ4年間は思うような結果を全く残せませんでした。そんな時思い出していたのが両親とのもう一つの約束事。「プロへの挑戦は25歳まで」というものでした。そのため、一つ年を重ねる度に、毎年重圧を感じていたそうです。

高校卒業後、プロへの明るい未来を想定していた渡辺さんでしたが、待っていたのは長い苦悶の日々でした。「飯は食べさせるが、(競技に対する)援助は一切しない」というのが両親との約束。用具代や遠征費を稼ぐため、冬場以外は肉体労働に従事し、お金を稼ぐ毎日。ムダ遣いをせず、冬場の支出に備えました。

90年代後半から、若い世代を中心に愛好者が増加しているスノーボード。最近ではスキーヤーよりもスノーボーダーが多いスキー場もあるほどです。

そんな状況の中、A sahi 自然観で腕を磨き、全国の舞台に羽ばたいているのが渡辺恭介さん。「スロープスタイル(※)」という競技でプロを目指し頑張る23歳です。

(※)スロープスタイル…雪でできた「ジャンプ台」、鉄の「レール」、箱形の「ボックス」などのアイテムが並ぶコースを滑走。ジャンプの高さや回転数、それぞれのアイテムを通過する際に決める技の美しさなどを競うスノーボードの種目です。



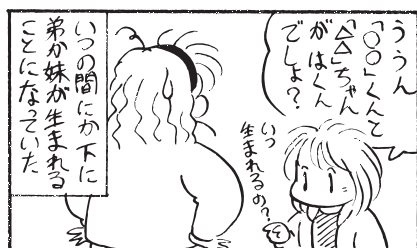
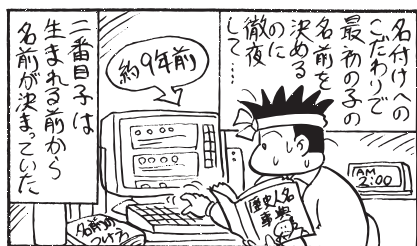
大会の合間に、原点である自然観を訪れる渡辺さん。「ボックス」の技を華麗に披露してくれました。

しかし、そんな苦しい日々を送りつつも地力は確実に上がっていました。今年の飛躍はそれが開花したものと言えます。冒頭の東北大会での優勝のほか、その倍以上の約140人が出場した「西日本大会」でも上位入賞を果たすなど、大会ごとにポイントを重ね、確実にプロへの階段を駆け上がっています。現在のポイントランキングでは、全国14位(2月28日)につけていて、プロ資格を取得できる8位以内を射程圏内にとらえている状況です。

「これまでの数年間で交遊関係が全国に広がったほか、挫折を経験して精神的にも強くなった気がします。そういった意味では、これまで自由にさせてくれた両親には言葉では表せないくらい感謝しています。今はプロの資格を取得することが、自分にできる最大で唯一の恩返し。必ず今シーズン中に取得します!」と最後に力強く宣言してくれました。

とないの リンゴさん

(213) ホリイ



大暮山
鈴木 拓也さん
紋子さん
渉真ちゃん

おととしの5月に会ったというお二人。それから間もなく出かけたデートの場所が八木山動物園（仙台市）でした。

そこで拓也さんがかけた「今度は3人で来ようね」というさりげない言葉。この日から二人の思いは一つだったと言います。

つき合ってから一年が経過した昨年5月には、拓也さんが紋子さんの両親に正式にあいさつ。結婚も秒読み段階に入っていましたが、昨年は紋子さんのお姉さんが結婚されたこともあり、しばらく待つように言われていました。

しかし、その直後の6月紋子さんの妊娠が判明。紋子さんの両親にそのことを報告した拓也さんは、「『穴があったら入りたい...』そんな心境でした」と当時の思いを語ります。その後、年が明けた今年1月1日の大安吉日にめでたく入籍され、拓也さんが鈴木家に婿入り。2月23日には、大暮山地区で16年ぶりとなる待望の赤ちゃんも誕生し、お祖父さんとともに家族6人が幸せいっぱいの日々を過ごしています。

「八木山動物園は少し大きくなった来年かな…」と語る紋子さん。生後間もない渉真ちゃんですが、両親の思い出の場所を訪れる日を心待ちにしていることでしょう。

町立図書館おすすめ

今月話題の本

第140回芥川賞受賞作

「ボストライムの舟」津村記久子 著

お金がなくても、夢は毎日育ててゆける。しなくても、夢は毎日育ててゆける。契約社員ナガセ29歳、彼女の目標は自分の年収と同じ世界一周旅行の費用を貯めること、総額163万円。執拗なまでに節約を試みるナガセだったが…。



第140回直木賞受賞作

「悼む人」天童 荒太 著

全国を放浪し、死者を悼む旅を続ける坂築静人。彼を巡り、夫を殺した女、人間不信の雑誌記者、末期癌の母らのドラマが繰り広げられる。聖者なのか、偽善者か? 「悼む人」は、誰なのか? 7年の歳月を費やした長編小説。



▼鬼の廻音/道尾秀介 ▼女優仕掛人/新堂冬樹 ▼千世と与一郎の関ヶ原/佐藤雅美 ▼反乱する管理職/高杉良 ▼廃墟建築士/三崎亜記 ▼WE LOVEジジイ/桂望実 ▼煙霞/黒川博行 ▼架空の球を追う/森絵都 ▼なにを食べたらいいの?/安部司 ▼待ってる/あさのあつこ ▼大きな約束/椎名誠 ▼五月の独房にて/岩井志麻子 ▼田園の魚をとりもどせ!/高橋清孝 ▼おはぐろとんぼ/宇江佐真理 ▼楊令伝8/北方謙三 ▼ツレと私の「たいへんだ!」育児/細川昭々 ▼はじめての離乳食/小池澄子 ▼少年譜/伊集院静 ▼骨の記憶/楡周平 ▼喋々々々/小川糸 ▼鳥かごの詩/北重人 ▼愛と義と智謀の人直江兼続/童門冬二 ▼女の道は一本道/田淵久美子 ▼この世でいちばん大事な「カネ」の話/西原理恵子 ▼暴雪園/佐々木護

ブックテーマコーナー・・・天下を争った戦国時代の武将たち

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、質問、提案などお待ちしております。
なお、匿名（無記名）での投書は、事実関係の確認が難しく、
回答できない場合もありますので、ご了承ください。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■Eメール／inform@town.asahi.yamagata.jp
■URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の

声

映画「おくりびと」上映会

- ▼期 日 4月5日（日）
▼時 間 1回目 10:00 } 開場は各々
2回目 13:00 } 30分前です
3回目 16:00 }
▼場 所 創遊館ホール
▼チケット（大人・子ども共通、全席自由）
前売り 1,000円
当 日 1,200円
※各回ごとのチケットです。
※前売りで完売となった場合、
当日券の販売はありません。
3月18日（水）より販売開始
▼取扱い 創遊館、西北部公民館
（平日 8:30~17:15のみ）
▼問合せ 教育文化課生涯学習係
☎0237-67-2118

※「おくりびと」とは
映画界最大の祭典「第81
回アカデミー賞」におい
て、「外国語映画賞」を受
賞した滝田洋二郎監督の日
本映画。遺体をひつぎに納
める「納棺師」の姿を描い
ていて、山形県庄内地方が

【匿名／同様の問合せ多数】
「朝日町では映画「おくり
びと」の上映予定は
はないのでしょうか。現在
多くの市町村で実施されて
いるようですので、ぜひお
願いします。」

映画「おくりびと」の
上映をお願いします

【教育文化課】
朝日町におきましても、
こうして多くの方々からご
要望を受けていることから、
町教育委員会では4月5日
（日）に上映会を開催する
こととしました。歴史に残
る賞を受賞したすばらしい
作品です。多くの方々のお
いideをお待ちしています。

【答】
今回の「おくりびと」
の快挙につきましては、
地元山形県が映画の舞台と
なっているというところもあ
り、県民誰もが喜んでいる
ことと思います。

舞台。撮影も同地方を中心
に行われた。

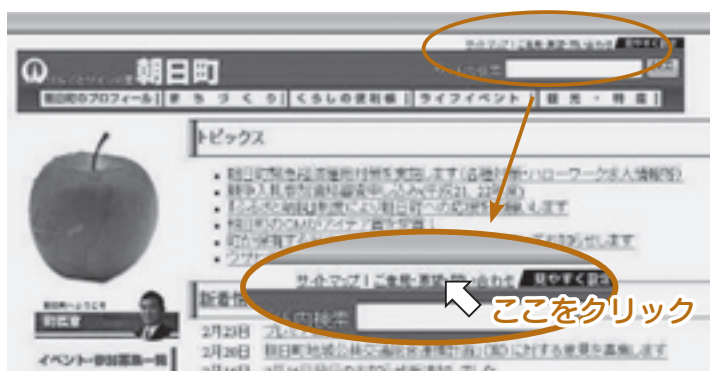
【答】
町ホームページに対し
てご意見をいただき、
ありがとうございます。
さて、ホームページのト
ップページ右上には、大変
小さな表記ですが、そうい
った声に対応できるように
「ご意見・ご要望・お問い
合わせ」というコーナーが
すでに設けられています。
そこをクリックした際、
これまで、各課ごとのア
ドレスしかありませんでした
が、今回、本要望を受け、
「広報あさひまち 町民の
声」専用アドレスを設けま

【匿名】
私は毎日ホームページを
チェックしています。町民
の意見を幅広く吸い上げる
ためにも必要ではないでし
ょうか。

【問】
ホームページ上に役場
に対する意見を投書で
きるコーナーを作ってく
ださい。

ホームページから投書
できるコーナーを

【政策推進課】
した。今後何かご意見等が
あれば、そちらをご利用
いただきますようお願い申
上げます。
なお、冒頭の箇所そのも
のが小さすぎて見にくいと
のご指摘もあります。ト
ップページのレイアウト変
更になると、多額の経費が
かかる見込みであり、現状
では実施が難しい状況です。
今回のリニューアルの際は、
そういった面も考慮に入れ
ますので、ご了承ください。





平成21年(2009年)
■2月1日～2月28日届出

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
舟渡堀	賢輝	男	秀一・多喜子
緑町鈴	木天	男	敬二・友子
本町安	達直	男	善裕・知子
大町伊	藤航	男	雅樹・由佳
大暮山	鈴木	男	拓也・紋子
大町成	原慎太郎	男	誠・恵美



おしあわせに

佐久間 裕 輔 (栗木沢)		松 田 奈保美 (大江町)
阿 部 尚 貴 (助ノ巻)		志 田 直 美 (山形市)
峯 田 真 人 (西船渡)		布 宮 麗 (村山市)
鈴 木 俊 吾 (助ノ巻)		木 村 旬 (上市市)
遠 藤 匠 (栗木沢)		平 向 あずさ (酒田市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
宇津野	佐竹清	勝男
西町	今井フ	信一郎
送橋	清野逸	逸山
大沼	最上ト	村亮
大松	安佐志	たの
栗木	佐藤竹	剛進
元町	岡部	啓一
四ノ	長岡	正好
今平	阿菅	好竹
大隅	鈴高	五俊
大松	齋鈴	利和
大栄		
大船		

人口と世帯数

●平成21年2月28日現在	
人口	8,340人 (減15)
男	4,133人 (減3)
女	4,207人 (減12)
世帯数	2,543世帯 (減2)
()内	前月比



マーティ先生の 朝日町見聞録

マーティ先生が日々の生活の中で感じたことを自由に表現します。(文章も本人)

マーティ日本酒を味わう

日本に来て初めて日本酒を飲みました。その時は、冷酒・熱燗・一級酒・二級酒 について説明してもらいました。いろんな種類を飲んでみたけど、一番熱燗がいいな・・・と思いました。そして、その時から日本酒は熱燗を飲んでいます。

先月、朝日町の日本酒工場(鈴木酒造さん)に行きました(※)。今までも日本酒は飲んでいたけど、どんな風に出来るのか?だれが作っているかは考えたことはなかったです。

実際に見学してみて、酒蔵の方々が昔のやり方を今も引継ぎ、ひとつひとつ丁寧に仕事をしている姿に感動しました。



今回、鈴木酒造さんでいろいろ勉強できたお陰で、これから楽しくお酒を味わえると思います。味だけではなく、酒蔵の人たちの事を考えながら、これからお酒を楽しみたいと思います。

※2月22日「おらほの酒蔵を訪ねる」と銘打った鈴木酒造の酒蔵見学会が開催されました。

各種大会の成績

■朝日自然観ジュニアスキー大会(2月14日/朝日自然観スノーパーク)

【3年男子】①志藤康平(大谷) 【3年女子】①村山美桜(宮宿) ②鈴木新菜(宮宿) ③鈴木百音(宮宿) 【4年男子】①田中友崇(宮宿) ②阿部大貴(西五百川) ③阿部達(西五百川) 【4年女子】①五十嵐美輝(大谷) ②遠藤みのり(大谷) ③小川未央(宮宿) 【5年男子】①鈴木諒真(宮宿) ②安藤力哉(宮宿) ③岡崎祐(宮宿) 【5年女子】①白田彩華(大谷) ②齊藤早紀(宮宿) ③若月梨加(宮宿) 【6年男子】①白田知也(大谷) ②阿部由良(宮宿) ③佐藤祥真(宮宿) 【6年女子】①滝川瀬奈(宮宿) ②浅岡美穂(宮宿) ③遠藤優佳(大谷)

わたしの作品

第50回 こども県展 入選作品

「満開の桜と校舎」

斎藤 麻菜さん
(西五百川小4年／常盤)



「小魚と 大へんてこ魚」

川村 さくらさん
(大谷小2年／大谷三)

春夏秋冬

編集後記

雄大な朝日連峰
その裏にある
興味深い歴史

内と置賜とを結ぶため、当時の米沢城主直江兼続が開削した道と言われています（現在の村山地方、最上地方は最上家の領地でした）。朝日連峰の稜線沿いに、幅2mほどの道が切り開かれ、現在の長井市と鶴岡市が約60kmで結ばれました。その形跡は今なお確認できるそうです。表紙で紹介した「春の雪山トレッキング」で盛り上がったのがこの話題。朝日連峰の雄大な姿を見ながら、400年以上前の直江兼続の偉業に思いを馳せ、しばらくその場に立ち尽くしてしまいました。佐久間 淳

1月から始まったNHK大河ドラマ「天地人」も、3月8日で第10話が終了し、いよいよ物語が本格的に動き出しました。物語の終盤では山形県が舞台となることから、朝日町でも何か関連する話題はないものかと、昨年末頃から探していましたが、簡単に見つかるものではありませんでした。しかし、この時代において、「朝日」の名がついているものが一つだけあります。それが「朝日軍道」。これは、上杉家が豊臣秀吉に会津移封を命じられた後、領地の中で飛び地だった庄